

九六四	康保 元年
九七二	天禄 三年
九九三	承暦 四年
一〇五一	永承 六年
一〇五七	天喜 五年
一〇九七	承徳 元年
一一八九	文治 五年
一一九〇	建久 元年
一二六三	弘長 三年
一二七五	建治 元年
一二九三	永仁 元年
一三一二	正和 二年
一三二九	元徳 元年
一三三三	元弘 三年
〃	正慶 二年
一三四八	正平 三年

石原村に薬師堂、宝蔵院を釈久光開くと伝える。

九月十一日空也上人会津で死し、冬木沢八葉寺に葬ると伝える。

十月十九日会津 耶麻両郡を以て会津郡とする。

前九年の役後、鎌倉権五郎と弥三郎、真渡におちると伝う。

源義家東征の帰途、塔寺八幡宮を移築したという。

塔寺八幡宮に荒田村の名がみえる。

佐原義連会津の守護となる。真渡輝井の宮、中荒井旗明神、御膳河原などの伝承がある。

橋爪千寿院に薬師寺を創建する。

南青木組の羽黒神社神器に、大会津郡の名がみえる。

磐梯山恵日寺の慶有、田植歌を写す。

佐原三代光盛、葦名と改める。

下小松、感応神社を恵心、源信が創建。

下荒井に葦名の臣富田三代祐義大沼郡西十二カ村を賜られて、築城の際耶麻郡叶荘より八幡宮を下荒井と下荒田（宮の下）に共に移す。城の一角に康寧山宝寿禅寺を創建する。

下荒井観音堂の鰐口にこの年号の銘があったと伝える。

下荒井に飯豊権現草創する。

百騎沼の由来を伝える。